



# 微明

発行日 平成2年4月1日  
発行者 銚田町商工会青年部  
部長 鬼沢保平  
〒311-15 銚田町大字銚田2476番地  
TEL 0291-2-2246



## 凧、凧揚げがれ 天まで揚げがれ

(第1回 ほこた凧揚げ大会  
於：銚田総合公園)

### びめい(微明)とは

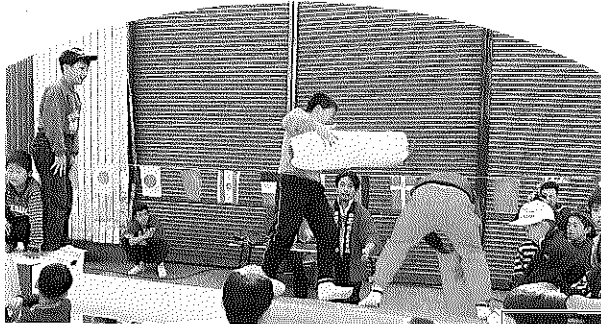
引き締めようと思うなら、しばらく  
拡張させておくに限る。弱めようと思  
うなら、しばらく与えておくに限る。  
この道理を知る事を「微明」という。

柔弱は剛強に勝つものなのである。  
(老子より)

### 目次

- 発刊にあたって……………2P
- ほこたフェスティバル'89……………3P
- 第1回ほこた凧揚げ大会……………4P
- 青年部に期待するもの……………5P
- 青年部事業報告……………6P~7P
- 特集(月刊びめい)より
  - ・ 青年部とは……………8P
  - ・ 商売……………9P
- 青年部マップ……………10P~11P
- 青年の船に参加して……………12P





**木上の決闘** 今回取り入れた催事 だん  
だん熱いものがこみ上げてくる



**綱引き大会**  
ナント賞金7万円!!  
力だけでは  
勝てない!!



**舞台** みんな、なにを心待ちしているのかな  
抽選会や表彰式が行なわれた

# ホコ天は

# 一日中大にぎわい



毎度人気上位  
行列はつづく

**ファファ**

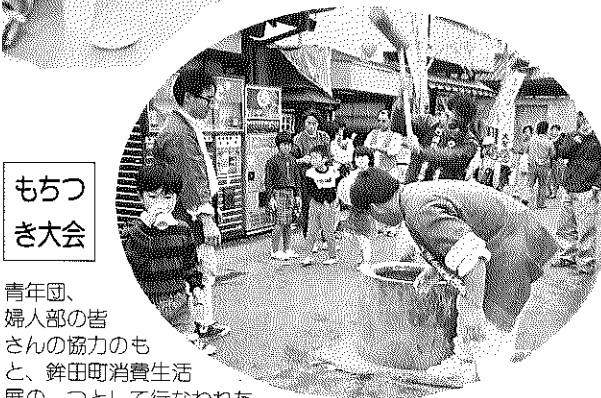
**模擬店コーナー**

模擬店の前には  
お客がいっぱい



**そば早食い大会**

わんぱくでもいい、たくましくそだってほしい(チョット古  
いかな)



**もちつき大会**

青年団、  
婦人部の皆  
さんの協力のも  
と、銚田町消費生活  
展の一つとして行なわれた

## ■今後の課題

地域社会の福祉の増進と町の活性化の一助となるべく、始まった、ホコ天フェスティバルは、青年祭と合せて、途中休止をいれて、はや10年以上たちました。催事的なマンネリ感と時代の流れの中で、今後の方向を模索しております。先の日米構造協議においても、大店法の処理問題、市場アクセスの自由化など、我々をとりまく環境はますますきびしさをまして来ています。その中で我々青年部は、これからのフェスティバル、町商店街にとってのフェスティバルの在り方を考え直す時期に来ていると思います。青年部はこれから如何に対処すべきか?じっくりと考えていきたいと思っています。



ニュー イベント

平成2年1月28日・銚田総合公園

第一回ほこた凧揚大会開催

青年部主催による「第一回ほこた凧揚大会」は、1月28日、銚田総合運動公園で開催されました。

主旨は、凧を揚げて町の活性化を図ろうと企画しました。この催しには、常陸凧の会（石山昭会長）や、町子ども会育成連合会、町内事業所などに、全面的に協力していただき、町を挙げての大会になりました。参加数は、町内外から617の個人、団体が参加。微風で、あいにくのコンディションのなか、参加者は手造りの凧を悪戦苦闘しながら揚げていました。

凧をとばそう大空へ



〈青年部の手造り大凧（審査対照外）〉

〈凧病院は終日大忙がし〉

町の活性化へ夢乗せ

第1回ほこた凧揚大会

思い思いに親子楽しむ



会場を駆け抜けながら運だこを掲げる参加者  
＝銚田町銚田総合公園で

なごを博せて町の活性化を図る。個人、団体が参加、あまの凧の会、事業所など町挙げての催し。銚田町商工会青年部主催、1月28日、銚田総合運動公園で開催された。この催しには、常陸凧の会（石山昭会長）や、町子ども会育成連合会、町内事業所などに、全面的に協力していただき、町を挙げての大会になりました。参加数は、町内外から617の個人、団体が参加。微風で、あいにくのコンディションのなか、参加者は手造りの凧を悪戦苦闘しながら揚げていました。

「朝日新聞1月28日付」その他、いばらき新聞、産経新聞、東京新聞など各紙に掲載された。

なごられた。手作りの凧を乗せ、あまの凧の会、事業所など町挙げての催し。銚田町商工会青年部主催、1月28日、銚田総合運動公園で開催された。この催しには、常陸凧の会（石山昭会長）や、町子ども会育成連合会、町内事業所などに、全面的に協力していただき、町を挙げての大会になりました。参加数は、町内外から617の個人、団体が参加。微風で、あいにくのコンディションのなか、参加者は手造りの凧を悪戦苦闘しながら揚げていました。

〈表彰式〉





## 青年部に期待するもの

銚田町商工会青年部担当  
高橋直人

私は商工会に勤めて12年になります。青年部活動に於いて、諸先輩達に御指導を頂きながら青年部育成に取り組んでまいりました。

銚田町商工会青年部は県内でも一早く設立されたと聞きました。設立当初は、サークル活動が中心だったようですが、除々に親会への参加協力、地域の活性化、社会一般の福祉の増進、講演会など開催することにより自己研さんして、今日に致ったようです。

私が勤めたころの青年部は、私達はこんなことを目指すんだといった情熱と理想をもって、会（集まり）のあるたびにノミネーション（酒飲）をしながら、時のたつのも忘れ、自己経営、趣味、青年部

運営の話に花を咲かせていました。しかし、今日の青年部はどうであろうか！ 今もノミネーションはしているが、青年部運営や趣味については余り話しをしないようです。

現在は、銚田町の商業は過疎化が進んでいると思います。なぜかという、鹿島開発の波に乗り、鹿島、神栖へ勤務している人々が帰りにショッピングを楽しんだり、さらに大洗鹿島線開通に伴い、茨城県の県都である水戸へと買物に出かけて行くなど、顧客流出により商圏人口が狭まっているからです。又、工業については、七瀬川（一級河川）及び北浦の水利権が無い為に工場を誘致出来ない状態であるので難しいと思います。このような観点を踏まえ、いずれ青年部員は商工会運営に携わって行く事になるでしょうから、地域に根ざした商工業の振興こそ青年部の使命と考え、青年経営者として21世紀へ向けて、誠心努力し、商工業の発展と自己経営に取り組み自己啓発する事を期待しております。



## 「月例会」について

銚田町商工会  
崎山 悟 指導員

『例会』月一回の青年部月例会、青年部員が一同に集まる楽しい一日である。しかし、部員が集まるのは、60数名の内20名前後過半数には届かない。なぜ欠席するのか？ 仕事や付合い等色々な理由があると思われるが、ある日、一人の部員が、例会はつまんね!! 決められた議案に添って会議を進めて、

時には一方的な執行部の話になってしまって、参加してもただ聞いているだけの会議では「つまんねよ。私はこの言葉を聞いて、ア然とした。そうです。例会に出席して一言も話さず帰って行く部員が数多くいる。限られた時間だけにどうしようもないが、何か良い解決方法はと考えたのが、一言講習会です。せっかく例会に来たのだから、身近かなものを取り上げて、一つでも良いから覚て帰えてもらおう。又一方的にならない様事務局だけの話しでなく、今後の講師は、青年部員から選んで行く事も考えています。青年部の皆さん、是非例会は参加して自分の聞いた事話したい事を述べて見てはいかが。



雑学

## ことばと意味

渡辺 義 信

先日、或る人に「モラル」と「モラール」の違いは？、と聞かれ、「同じじゃないですか」と言いきってしまいました。皆さんはすでに御存知と思いますが、言葉の意味の違いは有りました。後で辞書を引いて見てみると、**モラル**(moral) 道徳・倫理・身もち、**モラール**(morale) (軍隊や会社などの) 士気・風記、とあり似てはいますが、ちょっと違った意味が有ったのです。私は軽卒にも、モラルの方の語義だけを想っていたのでした。「モラル」と「モラール」の使い分け、特に人間の集団である企業や団体における「モラール」の重要性等は、日常の話

しや行動に欠かす事のできないものとして、周知の上の事としかられるかもしれません。遅まきながら私も、「モラル」と「モラール」を識ることが出来ました。皆さんにも改めて認識していただき、新たに青年部員にも、より一層のモラールの向上を計っていただきたいと思います。それには、部員相互の連帯はもとより、青年部活動の原点に帰って、我々一人ひとりが、「青年部とは、青年部活動とは」を問い直さなければ、組織の活性化、明日への脱皮を目指すことは至難の道であると考えます。自分の無知を肴に勝手に議論を展開してしまいましたが、私達の青年部にとっても「モラール」を振起することが重要であると言う結論になるようです。モラールの向上と例会の出席率は表裏一体の関係かな？。



## 活動報告

この一年を振り返って

- 4/22 平成元年度通常総会
- 6/18 青年部親睦ハイキング(御前山)
- 6/29 鹿行地区商工会青年部ゴルフ大会(準優勝)
- 7/1 親睦野球大会(対北浦村青年部)
- 7/6 鹿行地区商工会青年部野球大会
- 8/15 鉾田町連合青年団砂の彫刻祭協力
- 9/13 5町村ソフトボール大会(優勝)
- 9/26 茨城県商工会青年部ゴルフ大会(優勝)
- 9/29 親睦野球大会(対潮来税務署)
- 10/22 ほこたフェスティバル'89
- 11/8 講演会(はかま満緒)
- 11/23 歌謡ショー協力
- 12/3 町民駅伝参加及び忘年会
- 12/13 講演会(竹腰美代子)
- 1/28 凧揚げ大会
- 1/21・22 横浜マイカル本牧視察・親睦旅行(石和)
- 2/1 商工会青年部主張発表会(水戸)
- 2/8 スキーバスツアー(猪苗代)
- 2/25 いばらき駅伝協力
- 3/31 年間微明発行

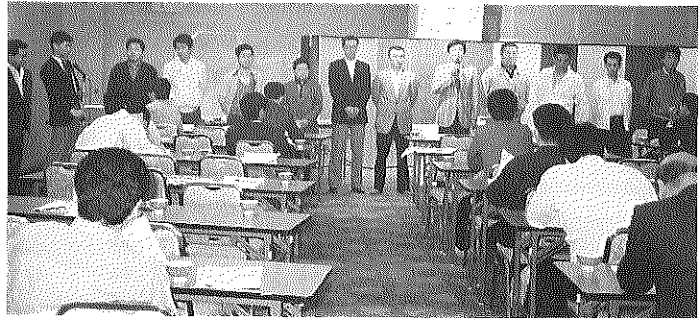
## 4/22 青年部新体制スタート

—平成元年度通常総会—

平成元年度通常総会は、4月22日(土)さわやホテルに於いて開催されました。

ほこたフェスティバル'89や第一回鉾田たこ揚げ大会等の地域振興事業の他、多くの活動行事が承認されました。

また今回、規約改正により、常任委員が3名増の10名となり、組織の強化が計られました。



新役員を代表して鬼沢部長があいさつ

## 青年部家族ハイキングに参加して

商工会事務局 大木 和子

去る6月18日(日)に青年部家族ハイキングに友達4人と参加させて戴きました。青年部員の日頃の行ないが良いせいとか昨日までの雨も止み、それほど暑くもなくまさにハイキング日和でした。朝中央公民館前を8時に大人24人子供15人で出発しました。10時には御前山青年旅行村に着いてしまい、そこで少し休憩した後富士山(ふじやま)に登りました。歩いた時間は、往復30分は無かったと思いますのでとても楽しいハイキングでした。その後は、お楽しみのバーベキューです。私は、初めてだったので良い経験になりました。たれがおいしくてたくさん戴いてしまいました。もちろん私も焼きそばなど作ってあげました。食べるだけではなかったことをお忘れなく。でもこの場所にお刺身があったのには、驚きました。12時にバーベキューも終わり帰りの出発には、2時間ありましたので、テニスのラケットとボールを借りコートで少しばかり汗を流しました。そのうちに皆が集まってきて、みんなでやりました。ある人は、始めてやるわりにはとても上手で、ある人は、力があり過ぎて山の中へボールを飛ばし見つからず高いボール代を払っていました。帰りのバスの中では、カラオケに花が咲きとても楽しい一日でした。友達も楽しかったと喜んでいたのでこれも青年部の皆さんのおかげだと思っています。本当にお世話になりました。

## 教育研修委員会

渡辺 義信

今年度、私達の委員会は二つの講演会と一度の研修旅行をおこないましたが、講師の選択・会の準備・参加者の募集等、不満足な結果になってしまい、部員の皆さんを欲求不満な状態に置いてしまった事について、深く反省し、来年度は青年部員の自己研鑽と資質の向上の一助となるような企画を考案し、皆様の好奇心と探求心を満足させるよう努力しますので、部員の皆様の参加をお待ちしています。

## 親睦委員会

小沼 保夫

親睦委員会として、1年間を振り返ってみて、年間スケジュールは、ほぼクリア出来たと思いますが、委員会の中での部員同志の連絡の取りかたがいまひとつスムーズにいかなかったのは、委員長としての「私の努力が足りなかった」の一言だと思っています。

来年度、もう一年間親睦委員長として、委員会を持たせていただけるならば、委員会内部の意志の統一を計り、委員会活動をスムーズに行ない、青年部の部員同志の親睦を、より一層深められるよう行事等を考えて行きたいと思ひます。



## 6/29 第6回鹿行商工会ゴルフ大会

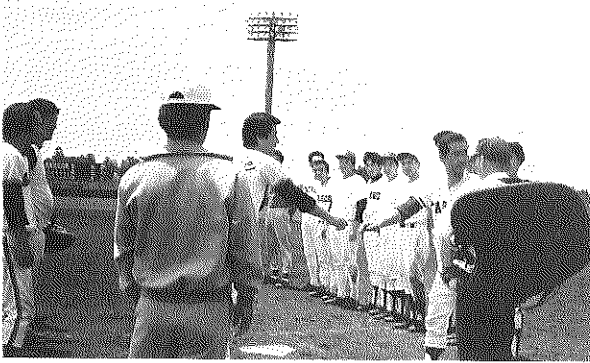
日時 6月29日(木) 白帆カントリークラブ

前日の大雨とうって変わって真夏のような暑い日差しの中でのプレイとなりました。鹿行12町村の商工会青年部員により盛大に開催されました。参加者数は75名銚田町商工会青年部は10名でした。上位3名のネットで争う団体戦はそれぞれが実力どりの力を発揮し小松崎、鬼沢(慶)、鬼沢部長の3名がトータルで216ストロークというすばらしいスコアを記録したんとの優勝かと思われたが実力よりも運に恵まれた大野村商工会青年部に僅か0.4ストロークの差で準優勝に甘んじてしまい去年に続くればの夢は破れた。(グロストータル銚田240、大野村266、なんと26ストロークの差が有るのだ。)

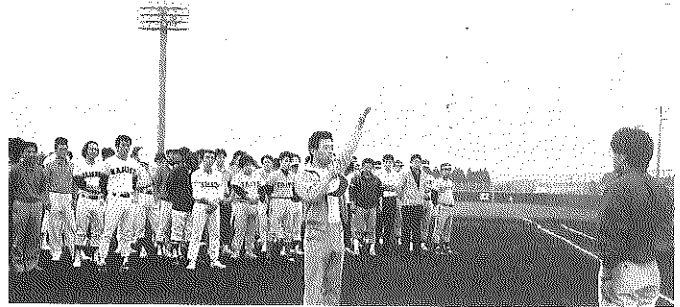
## 7/6 鹿行地区野球大会

参加町村は、潮来、玉造、牛堀、北浦、波崎、大野、大洋、鹿島、神栖、旭、銚田の11の商工会青年部で、今回麻生町が棄権しました。

さて、大会は銚田町の3球場で熱戦が展開され、(運動公園、北、秋津) 神栖町商工会青年部が、投手力にものを言わせて優勝しました。我が銚田町商工会青年部は、神栖に一回戦で惜しくも敗れました。



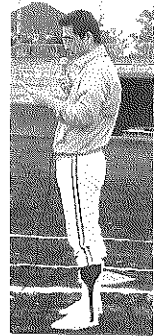
意気揚々と試合に望んだが……



開会式の選手宣誓

一生懸命練習したにもかかわらず、一回戦(対神栖)に、“10対6”のスコアで、初戦での敗退となってしまいました。今大会は、我が銚田町が会場という事で、“優勝”を合言葉に、選手一同一丸となったの戦いでしたが、もう一歩及びません出した。初回に4点を取り“いける”と思いながら私の采配のミスで、このような結果になりとても残念です。

来年こそは、県大会出場を目指し頑張りたいと思いますので、皆さんのご協力をよろしくお願いします。



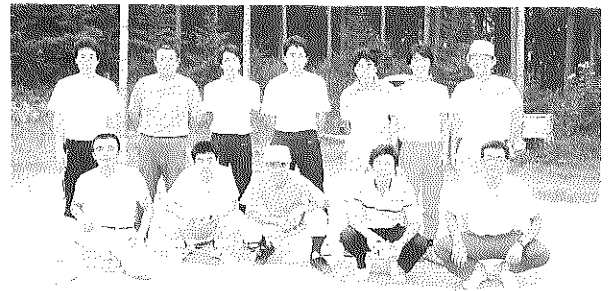
小沼監督

## 9/13 5町村ソフトボール大会

見事、我が銚田町商工会青年部は、3勝1敗で優勝いたしました。2位は、同じ3勝1敗ながら得失点差で旭村。

以下全試合結果

第一試合	5 : 0	(対大洋)	勝ち投手	崎山
第二試合	3 : 6	(対北浦)	負け投手	山口
第三試合	11 : 6	(対大野連合)	勝ち投手	大聖寺
第四試合	6 : 0	(対旭)	勝ち投手	大聖寺



## 地域振興委員会

川島 利市

私が青年部に入部したのは、昭和62年の9月でした。それまでの私は仕事が終われば家でテレビを見ているくらいで、ただなんとなくに生活していたわけです。このままで良いのかと思い始めていた時に、今の部長である鬼沢さんに誘われたわけです。今になって振り返ってみて、入部して本当に良かったと思うことは、今までの付き合いの中では、得られなかったであろう、新しい友人たちに巡り合ったことです。それぞれ異なった職種の人たちの集まりではありますが、同じ年代の人たちが今どんなことを考え、どんなことでなやんでいるのかがなんとなくでも分かっただけでもよかったなと思います。去年から総合振興の委員長

を任せましたが初めてのことで中身の濃い事業ができませんでした。今年はそんなことがないように頑張りますので部員みなさまがたの御協力をおねがいします。

## 広報委員会

松本 茂雄

我広報委員会は、本年度部員向けに月刊「微明」を年4回、商工会向けに年刊「微明」を年1回発行いたしました。年刊「微明」も今回で12号を数えます。

青年部活動を対外的にアピールし、活動内容を知らせる、また青年部員の意識の向上を図ると共に、青年部活動の活性化を目的として発行しております。

## 広報特集

広報委員会では、年間「微明」の他に、2ヶ月に一度の割合で、月刊「微明」を部員向けに発行してまいりました。その中で、毎回あるテーマをもうけて、特集記事を掲載しています。今回その内の「青年部とは」、「商売」の2つを再録いたします。

### 特集【青年部】とは

(月刊びめい 11月号より)

今月号では、我々が所属している「青年部」という組織について、また、自分達の生活に青年部の経験を如何に生かすか考えてみたい。

十月七日大洗海浜公園で行なわれた「ふるさと青年フォーラム'89」と題した座談会の新聞記事を先日見た。テーマは、「今青年が地域の主人公になるためには」だった。その中で、コメンテーターとして出席した小室等氏（フォークシンガー）の意見が面白かったので取り上げたい。以下小室氏の発言「ひとつ体験的に思うことがあるんです。何かやるときに、自分が一生懸命やると、やってないやつが見えてくるんです。すると、やってないやつを責め始めるんですね。俺がこれだけやっているのに、おまえやってないじゃないかって、だんだんぎくしゃくして行って、組織が崩壊して

いくのをしょっちゅう見るんです。働きアリがいますね。良く調べてみると働いているのは20%、あとの80%は働いているふりをしていただけなんですって。そこで、働いているアリだけを集めてみるとやっぱり20%しか働かない。今度は、働かないアリばかり集めてみると、20%が働くんですって。これは非常に教訓的なことですよ。全部が全部働いているってのは気持ちが悪いですよ。やる人は頑張るのが楽しくってやっているんですよ。黙々とやっているはず人は見えて、それに憧れる人が出てくる。働いてないじゃないかと説教し始めたらものごとはこわれる。一生懸命やるのは自分の為だということ、それはいつも20%なんだということ、そう思えばうまくいかないこともうまくいくようになるのではないかと思います。」以上が小室氏の発言である。

組織の中の自分を考える場合、なぜ自分はこんな事をしてるんだ、といった疑問がわく。しかしそれは自分のためであり、如何にして今の状況をプラスの方向へもっていくか考えるべきである。（松本）

### 二年間を振り返って

銚田町商工会青年部部長  
鬼沢保平

第十代、銚田町商工会青年部部長に就任して、早いもので一期二年が過ぎ、三年目を迎えました。二年前、五月の総会で前箕輪部長より大任を引き継ぎ、その際、私は二つの抱負を述べました。第一は、青年部活動を通して組織の勉強をしよう、ということです。我々を取り巻く社会は、縦の関係、横の関係など複雑な人間関係で成り立っています。そんな中で、ひとつのイベント（歩行者天国など）を成功させるために、責任者を中心に皆で協力し目標を達成するというは何物にもか得難い貴重な経験だと思うのです。部長になって、改めて、組織をまとめることの難しさと同時に部員それぞれへの感謝の気持ちも含めて、「成功」という感激も味わうことができました。

第二には、友達を多くつくろう、ということです。今までの学生時代の友人という狭い範囲を越えて、地域、年齢差に関係なく積極的に人間関係を広げていくことが望ましいと思います。そのためにも青年部活動に参加して、さきに述べたようなイベントをとうして、より多くの人と関わり合ながら親睦を深めていくことは、自分達の将来にとっても素晴らしいものだと思うのです。部長になってこの二年、歩行者天国をメインとして、凧作り、ソフトボール、ゴルフ、マージャン、マラソン大会参加、スキーバス、ハイキングなど、家族も含めていろいろな行事を行なってきました。それぞれの行事を通して、青年部活動以外でも、

親しく付き合える友人が増えたことは、本当に嬉しいことです。

そして、忘れてはならないことは、家族の協力です。多くの部員が、親子、夫婦共々、家業に携わっているわけですから、一人が、抜けた後をカバーしていることも決して忘れてはいけない、と思うのです。

これもまた、責任ある立場になり、家を空ける機会が多くなって、改めて気づいたことのひとつです。

家族という社会があり、そして青年部という社会があって、スキーバスやハイキングなどを通して、家族同士の付き合いが広がれば家族にとっても、本当に素晴らしいことだと思います。

この二年間を振り返り、広い心と、そして人に対する思いやり、気くばり、というものをもてるようになりました。これからも、人との対話、いわゆるコミュニケーションを大切に、私なりに努力していきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



ほこたフェスティバル'89より抽選会で特賞を授与する鬼沢部長



## 特集・商売

君の商売を反省したり改善したりするのに、役に立つ友達を持っているだろうか。本当の友達遊ぶときに必要なばかりか、正しく生きるときにもっとも大切なものなのである。倉本長治

### 銚田町の商業研究

現在の銚田町を取り巻く商売の環境は、一言でいえば暗い。厳しいとは、少し違うような気がする。それは、銚田町が県下有数の農業地帯で、毎年一応安定した金が降りてくること、首都からある程度、距離がある、農業地帯なため人口は3万人弱に安定してしまっている。つまり、ある意味で隔離された環境にあることによると思う。しかし、近年、バイパスの整備などにより緩やかに町内の商業地図は変化してきた。モータリゼーションの発達は田舎の小さな町の人々の生活スタイルを変化させてきた。また、安定した生活は、余裕を与え、多様化、個性化の時代をもたらした。その意味で、駐車場の確保は必須条件となり、各個店には、商品構成の見直し（充実化、専門化）、店舗の

近代化を迫られている。そうした中で、銚田町内の商店街は商工会を中心にいくつかの変革を試みるも抜本的な物でない。組織強化も必要である。地域単位での競争が激化している現在、町全体を考えるには商工会組織の充実が重要で、そのうえで、大型店問題、ショッピングセンター等を考えるべきである。それが、銚田町商店街としてのアイデンティティを打ち出し消費者に「受ける」（これが大切）商店街を作ることになるのではないかと思う。しかし、これは容易ではない。それでは、「通り」としての単位で充実を考えてみると、地域再開発による全国の例が多々有ると思う。例えば、横浜の大倉山エルム通り（アイボリーホワイトの建物群、御影石を敷き詰めた歩道、レトロ感覚が忍び寄るガス灯などギリシャ風町並みや、近いところでハミングロード等の例が見られる。つまり金太郎アメ型商店街から、いかにしてイメージ・チェンジを図るか。それには、再生をかけた大胆な発想と意気込みが必要であろう。（松本）

### 客の求める商店とは

商売とは何だろうか、物を売ることが商売なのだろうか。商品が有り余る現在、商品は色々な形態をとって、商品の多様化へと進み同じ品物でも容量、大きさなど様々である。お客は、これらの商品をテレビ、雑誌などのマスメディアで情報を得、自分の買いやすい店（決まった店）でその商品を求める。つまり商品を買うという事を思ったときは、買う店が頭に浮かんでくるのである。ようするに店は選ばれているのである。この選ばれた店に自分の店が入っているかいないかなのではないか。物を売るという行為は、昭和40年代のオイルショックまでの考え方であって今の時代はお客

によって店を選ぶ時代なのである。それではこの選ばれた店になるためには、どうしたら良いだろうか。それは、お客様にあった店づくりをすることである。

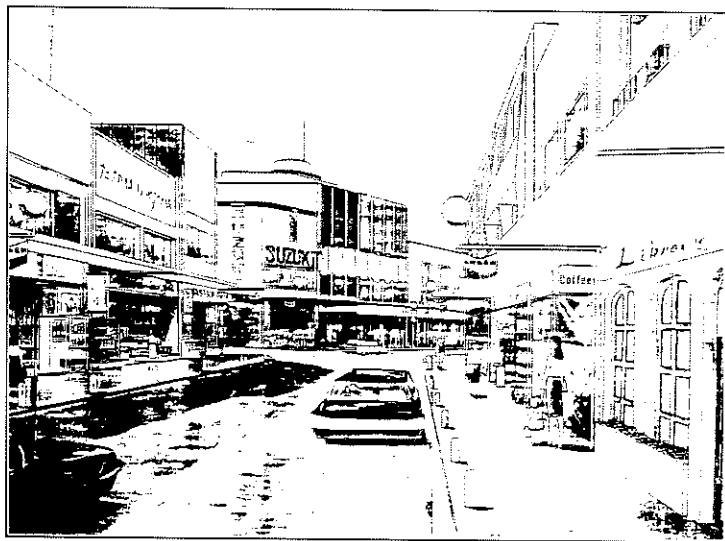
立地条件・駐車場・入りやすい店舗・ショッピングセンターのような共同店舗・サービススタンプ・買いやすい価格設定・商品の充実などの店舗や商品に関する事や、情報の発信基地としての役割りを果たす事（商品の情報やその地区の役立つ情報の提供）や、店主や従業員などの質の向上、商店街の活性化などを行うことによって客に求められる店になるのではないだろうか。そしてこれらの問題を解決するために、我々は商工会青年部・商店街・商工会で行なう講演会、各種事業、親睦会などによって多くの事を学び、たくさんの友人を作り様々な情報を得たり、実践する事によって商売とは何なのかを悟り発展する店づくりにつながるのではないだろうか。（橋本）



銚田町商工会青年部名簿

番号	氏名	住所	電話番号	業種別	生年月日	番号	氏名	住所
1	青木洋治	安房1372-2	3-4300	美容業	30.4.6	25	川島利市	下富田889-1
2	青野正男	古宿1367-12	3-2967	縫製業	25.4.11	26	菊地美博	本町2500
3	阿久津慎一	塔ヶ崎992	2-2335	土木建設	32.10.13	27	木村久保	横町1586-1
4	荒野圭吉	本橋町2129	2-2535	方材	39.8.11	28	木村久保	本橋町2123
5	荒野圭吉	西町2267	2-2008	肥料	30.3.11	29	久保田豊	昭利町2268-2
6	石上守明	本橋町2123	3-5279	畜産	35.5.18	30	熊原進	七軒町860
7	石上守明	旭町1883	2-2200	畜産	25.1.1	31	熊原進	七軒町860
8	伊東一雄	本町2477-12	2-2480	時計	27.6.14	32	小久保公	西台714
9	内田七軒	旭町1213	2-3382	木工業	40.6.22	33	小林克己	横町1699-7
10	大橋雄哉	旭町2506	2-2361	クリーニング	37.4.20	34	小松衛	大竹93
11	大原兼成	野友627	2-3184	飲食業	33.8.31	35	佐藤越哉	仲須2185-2
12	大和田史之	本町2460	2-3000	飲食業	34.3.1	36	椎木定夫	借宿390-3
13	大和田裕史	仲須2012	2-2761	食機	38.1.17	37	須鈴明	横町1612
14	岡里治彦	横町1591	2-2308	クリーニング	40.7.29	38	須藤英一	下新町1572
15	小川慶次	当間654	3-5203	建築業	34.10.11	39	高野正明	古宿79-1
16	小沢正保	借宿343	3-4131	ゴ	32.1.15	40	田口重之	古宿107-1
17	鬼沢平紀	桜本569-8	3-5012	白修業	42.11.4	41	田崎重武	大和田620
18	鬼沢好義	旭町1884-1	2-2810	肥料	28.5.18	42	大聖寺武夫	上新町93
19	鬼沢義彦	借宿1400-1	2-2817	肥料	25.3.8	43	土田隆	古宿1559
20	小野義正	安塚772	3-2083	肥料	31.10.27	44	戸田隆	本町2492-10
21	小野美和	御城2557	2-2329	農機	30.1.10	45	土井喜	当間652
22	藤藤和	鳥栖1941	6-2281	鮮魚	27.2.6	46	富田宏	借宿390-4
23	加藤明	徳宿1742	6-4210	食	31.11.11	47	中根一	仲須2015
24						48	中根康	当間520

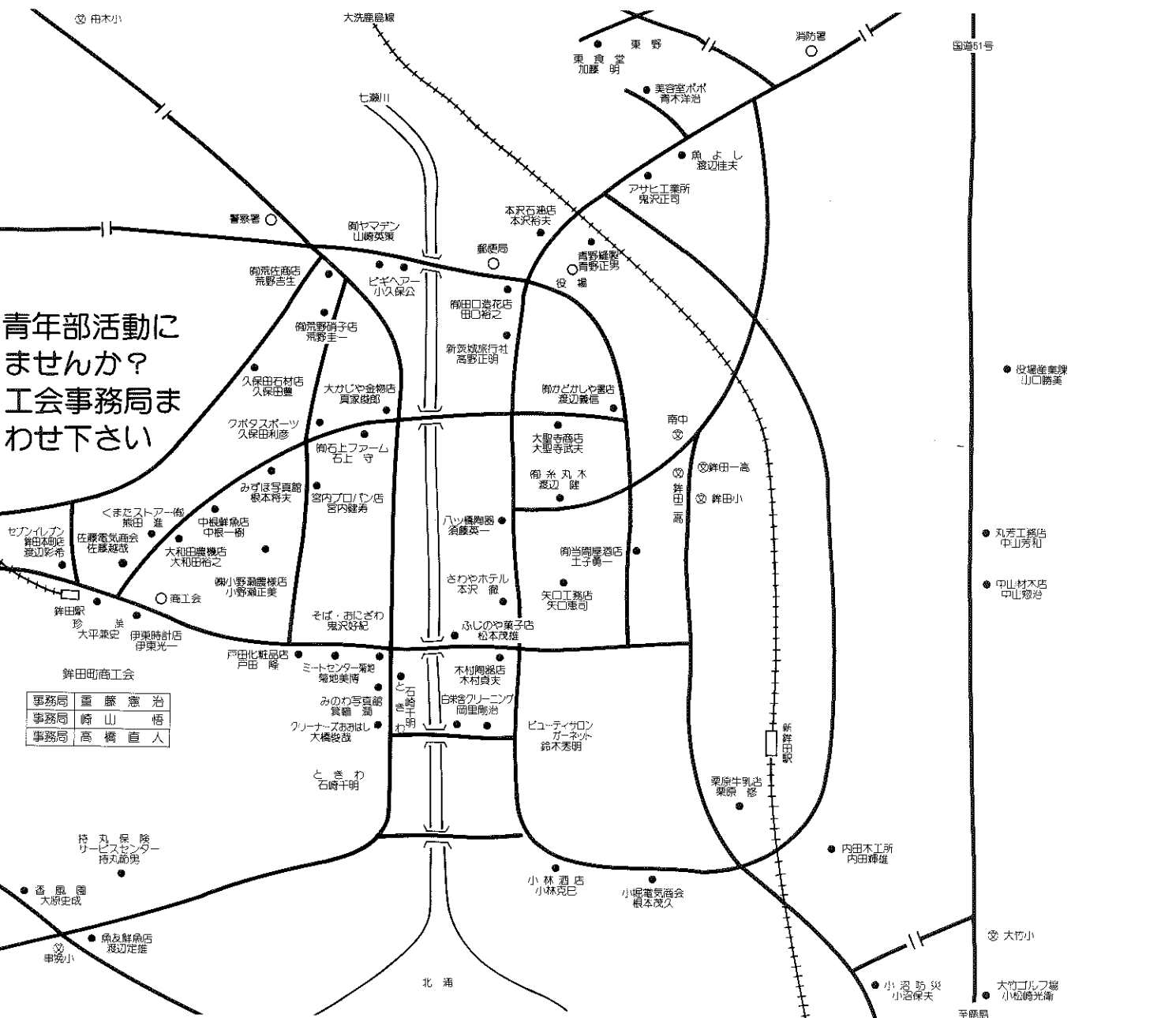
商工会青年部マップ



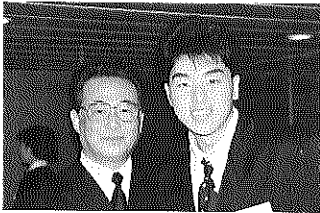
若者通り整備のイメージプランより

平成2年4月1日現在

電 話	業 種 別	生年月日	番 号	氏 名	住 所	電 話	業 種 別	生年月日
6-2825	飼料商	32.1.6	49	中山 惣治	柏熊717	2-3340	建築業	28.9.12
2-2212	精肉商	29.1.23	50	中山 芳和	柏熊709	3-3985	建設業	29.1.9
2-2025	陶器用品	28.1.20	51	根本 茂夫	七軒町1678	3-5176	電気工事	35.11.20
2-2525	スポーツ用品	40.4.16	52	根本 将夫	本橋町2022	2-2340	写真商	34.1.21
2-3069	石材業	42.2.24	53	橋本 将佳	堀之内887	3-4543	食品商	33.5.15
3-6425	食糧品	31.11.1	54	本沢 裕夫	下新町1352-2	3-2188	ホテル	26.11.23
2-2648	牛乳商	25.1.12	55	本沢 裕夫	吉宿1362-2	2-2225	燃料商	28.1.10
3-5076	美容業	36.11.26	56	真家 俊郎	本橋町2123	2-2233	金物商	31.1.15
2-2254	酒類商	37.1.26	57	真家 吉茂	借宿451	2-3226	自修業	27.2.14
3-6633	美容	31.11.12	58	松本 雄	横町1585	2-2006	菓子商	33.7.21
2-2505	電気業	36.10.5	59	箕輪 潤	旭町2508	2-2359	写真商	25.11.9
3-5206	豆腐業	33.2.3	60	宮内 健寿	御城2026	2-2753	燃料商	37.9.23
2-2382	美腐業	34.1.28	61	持丸 健節	串橋579-1	2-3323	保険業	27.5.28
2-2538	陶器	33.11.26	62	矢口 恵	新町1579	3-4305	建設業	31.12.16
2-4321	旅行業	38.6.2	63	山崎 浩	野友833-6	3-2302	飼料商	32.5.21
2-2261	花業	35.4.15	64	渡辺 健	新町1569	2-2575	寝具商	33.3.24
6-4775	建設業	34.5.22	65	渡辺 彩希	本町2603	3-2001	食品商	35.1.21
2-2634	燃料商	31.12.18	66	渡辺 雄夫	串橋888-4	2-2444	鮮魚商	29.4.19
2-2248	酒類商	30.11.13	67	渡辺 佳夫	桜本1370	3-4784	鮮魚商	26.9.25
2-2211	飲食業	28.1.6	68	渡辺 義信	古宿1515	2-2475	書籍	30.8.2
3-3771	ブレク加工	42.6.16	68	事務局 重藤 森 健	塔ヶ崎719	3-2130		23.1.18
3-3923	電気加工	27.6.9		事務局 崎山 悟 搭	七軒町995-1	2-3541		26.7.13
2-2539	鮮魚業	34.11.25		事務局 高橋 直人	仲須2243-1	3-6221		29.3.7
2-2948	菓子製造	34.10.28		担当 山口 勝美	富士峰1444-1	3-2111		32.12.7



## 青年の船に参加して



久保田 豊

船長さんと共に

「青年の船」事業はH.1.11/17～、10日間で行われ、訪問国は、中国・韓国という内容で実施された。

研修内容としては、「ふじ丸」船内での、講師や知事による講座、各部門別による活動、各種イベントが行われ、「学ぶ船」というねらいの基での研修、他地域の人との交流活動が船内での研修、活動の主な内容でした。

又、中国・韓国での他国を知り、交友親善を目的とする内容の現地研修が行われた。

船内研修で今に残っていることは、各種イベントなどで、内でも私達極一部の、6人で主催した、イエローカンパニーによるディスコパーティーで、当初いろいろあったが大成功に行われたことが一番心に残



山口 勝美

故宮にて(中国)

「地球サイズの人になれ」のテーマのもとに平成元年11月17日から11月26日までの10日間、客船「ふじ丸」に、県内各地から集まった332人の団員とともに乗船し、中国・韓国の2ヶ国を訪問、両国青年との交流、両国の文化や習慣に触れて参りました。

中国までの3日間に私達はいろいろな分野の経験豊かな講師のお話を聞いたり、ディスカッションしたりして、これからの青年活動のあり方や明日の茨城の姿を学んで参りました。

さて、訪問国である中国についてお話ししたいと思います。今回の青年の船で北京に宿泊したときのことです。ホテルに着いたのはすでに夜中の11時を回っていました。腹がすいてきたので、売店へ食料を買いに行ったとき、日本で売っているのと同じカップヌードルを売っていたので買い求め、さあ食べようとする、ハシもフォークも付いていないことに気がつきました。もう一度売店へ行き、「ハシかフォークを下さい」と言うと、「無い」と答えその上、「ハシは向こうの売店で売っている」と言うのです。その売店へ行ってみると、なんと象牙のおみやげ用のハシで一番安いハシでも12元もするのです。5元のカップヌードルを食べるのに12元のハシなど買う気になれず、「他の

ような船内での研修、生活です。

又、洋上祭・パーティーなどで、他の地域の人達と仲良く、和気藹々と出来たことが船内の感想です。

現地研修ではスケジュール的に少し余裕がなかったせいか、中国青年との短い交流しか出来ずほとんど研修というよりは、観光で終わってしまった気がする。

初めに中国を訪問したわけですが、印象に残っていることは中国大陸はとても大きい国で、雄大であるということと、万里の長城に登り、上から周りを見た景色がとても素晴らしい、又、天安門広場での広場の広さ大きさ、路面のキャタピラの跡、大気にかすんだ建物が印象的に残っています。

中でも万里の長城の景色は一番印象的で最高という感動した観光地でした。

中国での生活の内が一番苦だったのは、食べ物でどくとくの臭いと味で全然食べられず、日本人には合わない味だと思う。

次に、韓国ですが一日の訪問のため観光と買い物で終わってしまいあまり印象的ではなかった。

全研修を通して、実施前までは、あまり参加したくはなかったが、もう一度機会があれば、一般団員として参加して見たいと思う。

又、船での友達が多く出来たのでこれからプラスにして行きたい。

物と交換して欲しい」と言う、「それは出来ません」と言う。日本人の感覚ではハシ又はフォークが当然付いてくるものと思っていましたが、中国人はそんな事は気にしなく、すべて買った人が対処するものと考えているらしいのです。

この様な事から中国人全体を判断する訳ではありませんが、中国人にはサービス精神というものが感じられず、もう少し接客を考えてもらいたいと思いました。

次に有名な万里の長城を訪れたときのことです。歴史的にみると蛮族との戦いが何回となく行なわれ、国を守るために、6千キロに渡り山の尾根づたいに長城を築き上げたそうです。永遠に続くかのように見える万里の長城を見ていると、その当時の戦いのすさまじさがしのばれ、国を守ることの大切さを痛切に感じました。

最後に、青年の船10日間の研修を通じて、団員との交流、中国・韓国青年との交流など両国を訪問し、いろいろ貴重な体験をすることが出来、私の人生の中でも掛け替えのないものとなりました。これからは、この経験を後輩達に伝えて行きたいと思っています。

### 編集後記

今回は、あまり肩ひじを張らずに青年部の活動報告と、青年部自体の抱える諸問題を提起することで活動への理解を深めていただける様に心掛けて編集いたしました。

サクラが咲く頃には、出来上がる予定が跡形も無くなる頃となりました。

広報はタイムリーでなくてはなりません。

次回の課題として。

(S.M)